
嵐が丘

Hydrom

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嵐が丘

【Nコード】

N4363F

【作者名】

Hydrorm

【あらすじ】

うなぎも、さなぎも、やなぎも、もともとは同じ祖先を持つ兄弟のようなものだ。境目があいまいになると、いろんなことが起きる。たとえば、テロとか。

1・サナギ

前を歩く高校生ぐらいのカップルが、なにか口論をしている。

広角につばを飛ばし、道行く人々に迷惑そうな顔をされ、犬にほえられ、原付のバイクは事故を起こし、携帯を持ったサラリーマンが跳ねられる。

「だから、太平洋を回遊する魚だってば」

「それで、サナギ？サナギが海をおよぐの？」

「さなぎじゃなかったらなんだ。ヤナギか？木がおよぐのか？」

酔っ払いが足をもつらせてゴミだめに突っ込み、露出狂が全裸で奇声をあげながら走っていく、タクシーの運転手がタバコを燻らせ、コンビニの店員が眠そうにあくびをする。

「サナギは、たれをつけて焼く料理がうまいらしいよ。カバヤキとか言うやつ。コンビニにも10円で売ってるしさ。本当、サナギさまさまだよ」

「サナギの後ろかな。あれ、ヌルヌルしているよね」

「あれには掴むこつがあつてだな・・・」

カップルはコンビニに入っていく。蒲焼さん太郎を30パック、300円分購入し、店を後にする。

「ほら、これ。似ても似つかないけど、これはサナギだって。まちがいない」

「サナギがこれになるのか・・・なんだかかわいそう」

「そんなことは無いよ。サナギだって俺らに食べられることをうれしく思ってるって」

「それよりさ、パッケージにはカバヤキの写真がばーってはってるけど、内容はスケトウダラになってるよ？詐欺じゃないの？」

「そうかなあ。もしかしたらスケトウダラのがサナギなのかもしれない。似てるじゃん、語感がなんか」

彼らは、サナギでも、ヤナギでもなく、スケトウダラでもなく、

ウナギであることに気がつかないのだろうか。

ウナギの力は偉大である。時にはこのように、サナギと間違えさせるほどの能力を秘めている。

しょうゆ味に味付けされたサナギがカップルに食べられていく。

蒲焼さん太郎が残り半分ぐらいになったところで、カップルはビルの角を曲がっていく。そして右から来たトラックに跳ね飛ばされた。

1・サナギ（後書き）

え、これ続くの？と思ったら続きません。

え、これで終わり？とおもったなら続きます。

そんなもんです。迷惑です。

真剣だけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4363f/>

嵐が丘

2010年12月4日04時49分発行